

【事例 H25-01-45】 岐阜県郡上市**郡上市いのち支え合い推進事業
＝「こころ」と「いのち」みんなで支え合う郡上＝**

関係機関と連携し社会的要因への対応やこころの健康問題について総合的に取り組み、心の健康や自殺予防に関する普及啓発や相談事業の充実、自死遺族支援等事業で自殺対策を進めた。

【実施主体】 岐阜県郡上市**【大綱の分類】** 遺族支援を含む段階ごとの対策**【事業予算】** 3,641 千円（平成 24 年度）（うち基金は 668 千円）**【利 点】****【実施に至るまで】****【背景・必要性・理由の概要・等】**

・郡上市は、平成 11 年以降毎年 10 人から 16 人の自殺者があり、平成 11 年から平成 20 年までの 10 年間では、壮年期男性や高齢者女性の自殺の増加があった。自殺死亡率では国や県を上回る年が 7 回あり、地域特性にあった自殺対策に取り組んでいくことが課題となっている。

【計画を立てる上での工夫・等】

・自殺予防を 4 つの柱、「1 の柱 関係機関とのネットワーク強化、2 の柱 一次予防、3 の柱 二次予防、4 の柱 三次予防」、から総合的に取り組んでいる。特に郡上市いのち支え合い推進協議会を中心に、関係機関と地域ネットワークを図りながら事業を展開している。

【具体的な内容・実施の過程】

- ・平成 27 年度に郡上市健康福祉推進計画アンケート調査を実施し、自殺予防に対する行動を評価する。評価指標は、「うつ病やその対応の理解」や「相談窓口の認知度」とし、平成 22 年度に実施した郡上市健康福祉推進計画アンケート調査の実績を基準値とし、10%増加または減少とする。
- ・事業内容：ネットワーク（以下の通り）、
一次予防（心の健康を考える市民講座 6 回、街頭キャンペーン 2 回、ケーブルテレビ放映、広報での特集、高校生、事業主、労働者、一般それぞれの相談窓口一覧表作成、うつ予防ポケットティッシュ作成）

二次予防（民生委員児童委員研修会 7 回、ゲートキーパー研修会 1 回、臨床心理士による相談、岐阜いのちの電話フリーダイヤル設置、特定健診でのうつチェックと相談の充実）

三次予防（家族の集い、相談）その他（郡上市いのち支え合い（自殺対策）行動計画作成）

- ・平成 22 年度に設置した「郡上市いのち支え合い推進協議会」の委員会を構成する各機関、団体が中心となって、各々の役割を果たすとともに、相互に緊密な連携、協力を図りながら、各種施策を総合的かつ効果的に推進している。

【成 果】

- ▼ 心の健康づくりの推進：心の健康づくりや自殺予防の普及啓発として「心の健康を考える市民講座」を各地域で実施したところ、「ストレス研究会」や「笑いヨガサークル」等が生まれ活動を始めた。このことによって、心の健康づくりの基盤ができたと考える。
- ▼ 相談事業の充実：臨床心理士による定期相談や岐阜いのちの電話へのフリーダイヤルにより、専門的な相談が受けやすくなった。相談者も増えており、心の悩みを抱える人にとっての支援が図られてきた。
- ▼ 担当者会議でのケース検討：平成 24 年度より、担当者会議で自殺者のケース検討を実施し自殺にいたる背景から自殺予防対策を検討している。高齢者の自殺が多い中、高齢者の特徴について検討できた。

【補 足】 なし

【課 題】 実態調査から、うつ病についての理解や対応のしかたがわからない人が多いこと、悩んだ時の相談窓口がわからない人が多いことがわかり、これらに対する普及啓発の継続が必要である。

【事業種別】 対面型相談事業、人材育成事業、普及啓発事業、強化モデル事業

【準備期間・人数】 2 年（5 人 同課員）

【予防段階】 1 次、2 次、3 次

【自治体規模】 人口 43,000 人 財政規模（不明）

【自治体負担率】 無

【事業対象】 全市民

【支援対象】 一般市民（高校生、事業主、労働者、高齢者、自死遺族を含む）

【実施主体・問合せ先】 岐阜県郡上市役所健康福祉部健康課

TEL:0575-67-1834

E-mail:kenkou@city.gujo.gifu.jp

【参考資料・文献】

【作成日】 2017/5/22